

# 長野県聴覚障がい者 情報センターだより

2020.6

No.  
53

発行：長野県聴覚障がい者情報センター

〒381-0008 長野県長野市下駒沢586 サンアップル2階 Fax 026-295-3567 Tel 026-295-3530  
http://www.nagano-choujou.com E-mail : info@nagano-choujou.com

## 特集 便利な機器を使ってみよう

いろいろなメーカーから、種類は少ないかもしれませんが、聴覚障がい者の生活を便利にするための道具や機器が販売されています。昔の聴覚障がい者がこのことを知ったら、「今は便利になっていいなあ」とうらやましがられるかもしれません。

今回は、こうした聴覚障がい者の生活を便利にするための道具や機器をご紹介します。

### これは何に使うもの？

目覚まし時計の音のかわりに、扇風機の風で起きることができるよう、聴覚障がい者が工夫した「目覚まし時計」です。時計はキッチンタイマーです。ダイヤルが“0”になると、電気コードが接触して通電し、扇風機が回ります。（扇風機についているタイマーは、設定した時間が来たら止まるのが普通ですね）扇風機のかわりにあんま器をつないで振動で起きられるようにした人もいます。



昔は、聴覚障がい者の不便に対応する機器や道具がなかったため、自分の生活を少しでも便利にしようと、写真のようにすでにある機器を組み合わせて工夫していました。今でもこうした工夫をして使っているという聴覚障がい者もいます。

このほかにも、来客を知らせるインターホンのかわりに、パトライト（パトカーの屋根に乗っている、光がくるくる回って知らせるもの）をつないで使っていた、という聴覚障がい者もたくさんいます。

でも、キッチンタイマーが途中で止まってしまう朝に扇風機が回らなかった、パトライトの光る時間が短く、来客になかなか気づけなかった、という悲しい体験談も、聴覚障がい者ならではの「あるある」です。

## 朝、目覚まし時計で起きられるか心配

目覚まし時計の音の代わりに振動や光で教えてくれます。いろいろなタイプがあります。その例を紹介します。

置き時計型  
(ベッドシェーカー接続タイプ)



携帯型  
(本体振動タイプ)



腕時計型



振動の強弱

強め

弱め

持ち運び

難しい

簡単

特徴

振動はベッドシェーカーを受信機につないで枕の下などに置きます。

本体が大きく、コンセント電源式なので持ち運びには不便ですが、インターホンなどと連動し、就寝中に来客があっても振動でわかる商品もあります。

本体は枕などの下に置いて使えます。LED懐中電灯などの機能もついているものもあります。本体が振動するタイプなので、枕などの下に置くと時刻をすぐに確認しにくくなります。電池式なので旅行先などで使うことができます。

普通に腕時計と同じように使える振動式時計です。電車などでの仮眠にも使えますし、図書館などで指定時刻を知らせてほしいときにも使うことができます。防水仕様で、水泳などで使用できる商品もあります。置き時計や携帯型に比べると振動は弱め。

ここで紹介しているものの一部は**聴覚障がい者情報センター**にありますので、手に取って試してみたいかでしょうか？

また、市町村の給付対象となるものがあります。お住まいの市町村に問い合わせるか、または聴覚障がい者情報センターへご相談ください。

便利な機器を動画で紹介しています。



# インターホンの音がわからなくて来客に気づかない

インターホンの音を発信器が感知し、アラームクロックやフラッシュライトなどの受信器が光や振動で知らせてくれます。インターホンだけでなく、電話やFAX着信、火災報知器の音などにも連動して知らせてくれる機器もあります。

補聴器を外しているとき、別室での作業中や就寝中でも赤ちゃんの泣き声などにもすぐ気づくことができます。

フラッシュライトなど受信器は家に一つだけだと他の部屋に行ったとき、光に気づかない恐れがあります。居間、寝室など部屋ごとに受信器を設置すると確実に気づくことができます。

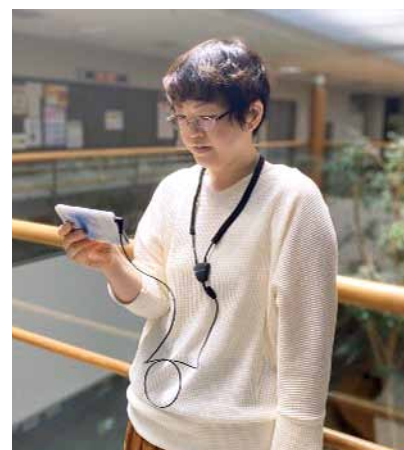
## 音を感知して光でお知らせ



# 補聴器をしているけどもっと聞こえやすくできないか..?

補聴器をしていても、テレビなどの音が聞こえにくいいため自分が聞こえる程度までにボリュームを上げようとして、他の家族や周囲の人にうるさいと嫌がられることがあります。そんなときには、音楽やテレビの音をはっきりと聞くことができる磁気誘導コイル機器（ヒアリングループ）がおすすめです。補聴器のスイッチで「Tモード」または「MTモード」に切り替えると、テレビなどの音声は補聴器に直接伝送されるため、明瞭な音声として聞こえてきます。数十人が同時に使用するときには便利な室内設置型のヒアリングループのほか、個人で使う耳にかけるタイプや首に下げるタイプなどいろいろあります。

## 首かけタイプの使用例



無線でスマホの音が直接、補聴器に伝送されるので便利です。

## 筆談するとき便利な道具はある？

筆談は、紙とペンがあればできますが、書いている途中で紙が終わってしまったり、書いたあとの紙の処分に困ることがあります。そんなときは小型ホワイトボードや電子メモパッド、磁気ボードが便利です。書いたらすぐに消せるので、住所などの個人情報も残らず、紙の処分に困ることもなくなります。



磁気ボード



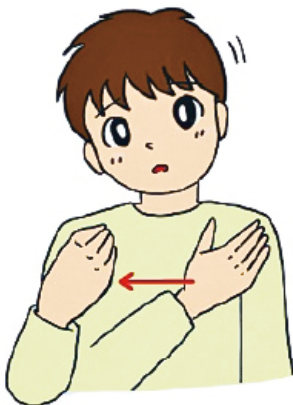
電子メモパッド

公共交通機関の窓口でも磁気ボードやホワイトボードなどを設置しているところが増えています。

電子メモパッドは、本体が薄くかさばらないので持ち運びができます。筆圧で線の太さが調整できるので、図を描くときにも便利です。他に、暗いところでもバックライトが光り書いた字を読める「アンブルボード」もあります。災害時の夜間での情報伝達や避難誘導にも使われています。

### ◆使ってみよう ひとこと手話◆

#### 「大丈夫」



片手の指先を遠いほうの肩につけてから、横に動かして近いほうの肩につけます。

単独だと「大丈夫・できる」という意味の手話です。

例) 今、話してもいい？ → 大丈夫

あなた、手話できる？ → できる

動詞につなげて表すと、その動詞が可能の意味になります。

例) 食べる + できる → 食べられる

問いかける表情(眉上げ、首をかしげる等)で表すと、「大丈夫ですか?」というふうにも使えます。

動画で確認してみよう!

QRコードを読み取ってください

